

(様式1)

令和6年度学校パワーアップ事業全体構想

学校名

荒川区立第四中学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容

確かな学力の定着・向上を図るとともに、豊かな人間性を育成する。

- 1 学び方指導と家庭学習による学力の定着・向上 2 ICT機器活用等による学習指導の充実
 3 学校図書館活用等による学習意欲の向上 4 外部人材等の活用による、教育活動の充実
 5 文化的活動や奉仕活動、職業体験等の充実による、社会性・豊かな人間性の育成

学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
学びの場と実践的指導力で、確かな学力を 学び方指導と家庭学習の定着 ・学習の仕方指導の充実 ・家庭学習ノートの活用 指導力向上と指導方法の改善 ・ICTによる指導力向上 ・図書館活用による授業改善 数学の基礎・基本の定着を図る指導の充実 ・数学専門指導員の活用 ・数学検定の奨励	関わる力が育つ学校づくりで、社会を生き抜く力を 人間力を育てる指導の充実 ・人間関係づくり支援の充実 ・道徳授業の改善 ・特別支援教育の充実 ・キャリア教育の推進 未来を生きる教育の充実 ・専門家講師による特別講義 ・文化的行事の充実	文化的で教養のある学校づくりで、豊かな人間性を 文化的活動の充実 ・伝統文化理解教育の推進 ・文化系部活動の支援 特別活動の活性化 ・行事・部活動等の支援 奉仕の精神の醸成 ・JRC・防災部等貢献活動 環境美化活動の充実 ・地域と連携した環境美化

令和5年度 全国・荒川区学力調査に関する結果（平均正答率：％）

区学力調査（全学年）

	1年					2年				
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
自校	61.3	49.7	66.9	60.5	84.7	63.2	48.4	52.3	40.7	50.7
区	60.2	50.7	67.6	59.5	84.5	64.5	48.3	55.5	49.7	49.8
区との比較	1.1	▲ 1.0	▲ 0.7	1.0	0.2	▲ 1.3	0.1	▲ 3.2	▲ 9.0	0.9
	3年									
	国語	社会	数学	理科	英語					
自校	65.5	48.7	50.3	47.5	47.8					
区	65.9	49.9	56.1	45.2	50.3					
区との比較	▲ 0.4	▲ 1.2	▲ 5.8	2.3	▲ 2.5					

全国学力・学習状況調査（3年）

	国語	数学	英語
自校	65	44	41
全国（公立）	69.8	51.0	45.6
全国（公立）との比較	▲ 4.8	▲ 7.0	▲ 4.6

※学校の結果は整数で示されています。

令和6年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第四中学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
学び方指導と 家庭学習の定着 ・ 学習の仕方指導の充実 ・ 家庭学習ノートの活用	【内容】 令和5年度の区調査で「家での週あたり勉強日数」の肯定的回答は、第2学年77%(令和4年度35.3%)、第1学年70.5%であった。 以下の2つを全校で取り組み、家庭学習の定着と学ぶ意欲の育成を図る。 ・ 自学自主・学習習慣の定着のため、全学年での「家庭学習ノート」の実施。 ・ 学習活動の基盤となるリーディングリテラシー育成のため、家庭学習課題として「よむYOMUワークシート」の実施。 【目標】 ・ 区調査「家での週あたり勉強日数」 肯定的回答80%以上
指導力向上と 指導方法の改善 ・ ICT活用による指導力向上 ・ 図書館活用による授業改善	【内容】 令和5年度の学校評価(生徒)では、ICT機器活用(情報教育)が89.9%、学校図書館の活用が83.6%であり、授業における活用が進んでいる。更なる授業の質の向上と読解力向上のため、学校全体で継続的に取り組むことで、教育の質を高める。 【目標】 ・ 学校評価(生徒)肯定的回答 「情報教育」90%以上 「学校図書館の活用」90%以上
数学の基礎・基本の 定着を図る指導の 充実 ・ 数学専門指導員の導入・活用 ・ 数学検定の奨励	【内容】 区学力調査における平均正答率で、数学が他の教科に比べ区との差が大きい傾向が全学年に見みられる。数学科専門の学習補助員を導入、習熟の程度に応じた指導により、遅れやつまずきのある生徒の基礎・基本の定着、意欲を引き出し、一人も取りこぼすことのないよう授業改善を図る。 5年度都調査「数学の授業が分かる」82.9% 【目標】 ・ 都生徒の学力向上を図るための調査 肯定的回答 「数学の授業が分かる」85%以上